

代表取締役社長
山内 一裕
×
プロゴルファー
星野 杏奈

ヘルスケア事業本部では、当社取扱ヘルスケア商品の販売強化策の一環として、商品のプロモーションとモニターとしての役割を期待して、2019年12月、女子プロバレーボールチーム（ヴィクトリーナ姫路）のエリヤスponサーに就任しました。当社としては、同様の観点から、今般新たに2023年1月から女子プロゴルフ界の2022年度ルーキーである星野杏奈プロのスponサーに就任することといたしました。そこで、今回はご本人を本社にお招きしてスペシャルトークを行いましたので紹介します。



山内：早速ですが、プロフィールを拝見すると、星野プロの誕生日が2月27日ですね。実は、当社の創立記念日と同じなので、とてもご縁を感じていました。

星野：えっ！ そうなのですか、驚きました。

山内：当社は1896年（明治29年）創立ですので、星野プロとは103歳違いです。この103年間は、明治以降の2度の大戦を乗り越えて、繊維の活況から不況まで様々なことが起きた激動の時代でした。当社は、東京日本橋に三井財閥と杉村甚兵衛翁が立ち上げた日本で最初の国産毛織物メーカーです。現在は、商業施設、ヘルスケア、繊維・アパレルの各事業を推進し、社会のより良い未来作りに貢献し続けています。

星野プロは昨年プロテストに合格したルーキーということがあります、プロになろうと思ったきっかけは何ですか？



星野：幼少期にゴルフ好きの父がゴルフを手ほどきしてくれたのが最初です。小学生でプロのコーチに師事して、アマチュア時代には地元の大会で優勝したりして、本格的にプロを目指し始めました。でも、女子プロゴルファーの合格率は約3%の狭き門と言われており、いったん大学卒業後はOLとして勤めました。しかし、現在の所属先の会長から本気でプロテストを受験してみないかと言われ、諦めかけたプロの道に再挑戦したところ、94期生として合格したのです。

山内：たくさんの受験生に打ち勝つプロになるというチャレンジングな精神がすごいですね。当社の如き歴史ある企業の社員はどうしても伝統的な固定観念から離れることが苦手な部分があり、星野プロの困難に立ち向かうチャレンジングな姿勢から学べることが多々あります。

星野：ところで、コロナ禍でゴルフ界も苦労していますが、御社はコロナ禍をどう乗り越えようとしてされていますか？

山内：経済界では円安・資源高が続く中、恩恵を受ける業

態とネガティブなインパクトを受ける業態の二極化が進んでいると思います。当社はネガティブな影響を受けやすい事業も有していると言わざるを得ませんが、一方で、海外動向の影響を受けにくい事業としては、地域に根差した静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」は好調で、また、睡眠不足に悩む現代人や高齢者の健康を守るヘルスケア事業に底堅いニーズがあります。今後はこうした強い市場を持つ事業をさらに強化していきたいと考えています。

星野：そうですね。私も、御社のヘルスケア商品を拝見しましたが、アスリートにも効果があるとのことをお聞きして、とても興味を持っており早く使ってみたいと思っています。

山内：ゴルフの話ですが、テレビなどで拝見していると、プロのスイングはボールよりも前の部分の地面の芝…いわゆるターフ（芝生）を取っていますね。私のような素人にはこれが出来ないです。

星野：私の場合は、ボールを前に押し出すような気持で打ちます。たぶん、アマチュアの方は、目の前のボールに対する気持ちが強すぎて、ただボールに当てに行くのだと思います。大切なことは、目の前のボールではなく、ショットの全体をイメージして、ボールの先に意識を持っていくということでしょうか。「ボールの先のターフを取り！」です。

山内：なるほど。コロナに負けず強い気持ちで数歩先の次の展開に目を向けて前進することが必要だということに繋がります。「ボールの先のターフを取り！」の精神ですね。良いお話を聞きました。あと、コースマネジメントの重要性もよく言われますが、ワンポイントがあれば聞かせてください。

星野：コースマネジメントについて、いろいろポイントはありますか、例えば、ホールごとに3～5打で上がるとして、ゴールであるグリーンから逆算して、次のボールの落としどころを考えるということは基本になります。

山内：ゴールから逆算するのですね。会社で行う仕事も同じです。期限から逆算して、いつまでも何をするかの工程管理をしっかりできる人は信頼できます。最後になりますが、星野プロの目標を聞かせてください。

星野：プロゴルファーとしての目標は、レギュラーツアーで勝つことです。そして、たくさんの方に応援してもらえるそんなプロゴルファーになりたいです。

山内：星野プロとお話をし、最後に気持ちのこもった目標も聞けて、たくさんパワーをもらつた気がします。たくさんのファンの方もそのパワーをもらえると良いと思いました。ぜひ近い将来のツアー優勝を期待して応援します。一方、当社は中期経営計画の達成や中長期的に成長を続け社会に貢献する企業として役職員一同一段と頑張ります。お互い目標に向かって頑張りましょう。今日はありがとうございました。

星野：こちらこそ、社長の明るいお人柄とパワーに刺激をもらいました。ありがとうございました。

星野 杏奈
(ほしの あんな)

埼玉県出身 1999年2月27日生まれ
身長153cm 23歳



2015年 埼玉県ジュニアゴルフ選手権優勝。
2018年 東京都女子アマ選手権優勝。
2021年 3月 日大ゴルフ部卒。
2021年11月 JLPGAプロテスト合格。
2021年 ファイナルQTランク47位。

座右の銘は、「継続こそ力なり」

